

情報活用能力表(一之江モデル) 令和7年5月1日付				
	タイトル	STEP 1(1・2年生)	STEP 2(3・4年生)	STEP 3(5・6年生)
基本的操作	文字入力 	文字の入力を行うことができる	キーボードで文字入力することができる (30～40文字程度/1分間)	キーボードで文字入力ができる (100文字程度/1分間)
	操作スキル 	iPadを起動したり、終了したりすることができる 写真を撮ることができる	入力モード切替、全角と半角での数値入力することができる	切り取り、コピー、貼り付け、共同編集を行うことができる
	アプリ選択 	アプリケーションの起動・終了・切り替えを行うことができる	日本語ワープロソフト(Wordなど)、プレゼンテーションソフト(Powerpointなど)を操作することができる	目的に応じてアプリケーションを選択・操作することができる 表計算ソフト(Excelなど)を操作することができる
	アプリの操作 	ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチイン・アウトを行うことができる	Teamsやオクリンクプラスを使って課題を提出することができる	iMovieを使った動画編集を行うことができる
	検索スキル 	知りたいことを調べることができる	知りたいことを正しく調べることができる	知りたいことを様々な方法で調べることができる
	ファイル管理 	ファイルを開いたり、ファイルを保存したりすることができる	保存場所の選択・上書き保存・名前を付けて保存することができる	ファイルの移動・コピー・削除することができる
情報活用	学習計画 	決められた計画に合わせて学習に取り組むことができる	自分自身で学習計画を立てて取り組むことができる	
	情報の収集 	本から調べたいことを集めることができる	本やインターネットなどから情報を集めることができる	情報を集めるときに、適切な方法を選択することができる
	情報の整理 	絵や図を使って整理することができる	表やグラフなどを使って情報を整理することができる	目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理することができる
	情報の分析	1～2点の情報をみて、説明することができる	2～3点の情報から、変化などを捉えることができる	複数の情報から、傾向や変化を見付けることができる
	情報の表現・発信	聞く人のことを考えて、表現することができる	聞き手や目的を意識して発表することができる	聞き手や目的に合わせて発表することができる
	評価・改善 	学んだことを振り返り、情報を使った解決のよさを 確かめることができる	調べ学習後振り返りをして、改善点を見付けることができる	調べ学習後に振り返りをして、改善点を見付け、次につなげている
	分析・判断 	自分なりの理由をもって考えることができる	事実や根拠をもとに、分析・判断することができる	事実や根拠に基づき、論理的に分析・判断することができる
	新たな発見 	1～2点の情報から、分かったことをまとめることができる	2～3点の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだせる	調べて分かったことを基に新しい考えを生み出すことができる
プログラミング	物事の分解 	物事を正しく分解したり、組み合わせたりすることが できる	自分で考えた通りのプログラムをつくることができる	
	物事の処理 	言われたことを順番に処理がすることできる	「もし～ならば～して」などの命令をプログラミングでつくることができる	
	分かりやすい説明	やり方を順番に説明することができる	手順を図などに表し、説明することができる	フローチャートなどの思考ツールを使って説明することができる
	データの関連付け	プログラミングをするときに、絵や図を使って情報を 整理することができる	プログラミングをするときに、表やグラフなどを用いて情報を整理することが できる	プログラミングをするときに、目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理 することができる
	データの傾向 	プログラミングをするときに、情報の大体を捉え、分解・整理し、まとめること ができる	プログラミングをするときに、情報の傾向、変化を捉え、新たな考えや意味を見いだせる	
	試行錯誤 	うまくいかないときに、何度も繰り返し取り組もうとすることができる	取り組む前にどうなるか想像するなどして問題解決を図ることができる	解決方法を論理的に考えることができる
情報セキュリティ	タブレットルール	タブレットを使うときにルールを守ることができる	タブレットを使うときに、ルールやマナーを守ることができる	タブレットを使うときに、ルールやマナーを考え、守ることができる
	発信ルール 	ルールやマナーを守り、チャット、Web、などを利用することができる		ルールやマナーを守り、チャット、Web、SNSなどを適切に利用することがで きる
	セキュリティ 	個人情報 を 教えない	あやしいサイトに アクセスしない	IDやパスワードを使って、適切に個人情報を管理することができる
	情報の大切さ 	自分や友達のことを大切にしようとする行動をとることができる	自分や友達の情報を大切にしようとする行動することができる	自分や友達の情報には、それぞれ権利があることを理解している